

# 高退協ニュース

No.228  
2021年1月1日発行  
協高退  
局務高知  
事

〒780-0850

高知県高等学校校選職教職員協議会

高知市丸の内2丁目1-10  
高知城ホール高教組受付

連絡先 TEL 088(822) 6822

郵便振替口座0165052511893



## 新年あいさつ 希望を語り、紡ぐ年に！ ～矛盾の拡大は質的変換を呼ぶ～

高退協会長  
川村喜美



大きな感染拡大の中にあ  
ります。この間の政府の  
コロナ対策は経済優先で  
人命軽視としか言いよう  
がありません。旅行や会  
食の推進以前に、まずは  
感染拡大を止める手立て  
を最優先すべきです。経  
営面が大変な事業者や生  
活が困難している人には、  
国として他の予算を崩し  
ても給付金を出すべき  
です。また、大変な医療  
現場で命をかけて奮闘して  
くたくたになっている医療従事  
者への感謝を政府は前面  
に出すべきです。

このようにコロナ感染症が  
猛威をふるった2020年の  
中でも、人間の尊厳を求める  
声は止むことはなく、コロナ  
禍でより鮮明になっています。  
核兵器禁止条約が50カ国で  
批准され、この1月22日に国  
際法となります。核兵器を有  
する国々が反対しても、全世  
界の人々の良識を崩すことは  
できません。強圧的な自国第

一主義のトランプ政権も交代  
しました。日本においてもト  
ランプ政権の言いだった  
安倍首相が桜を見る会、森友・  
加計問題等の追求を受け、ま  
ともな答弁もできずに降板し  
ました。  
県内では「老人よ、立ち上  
がれ！」と宣伝カーから気迫  
の訴えをした山原健二郎さん  
の生誕100年。日本で初の女性  
参政権を求めた民権ばあさん  
の楠瀬喜多さんの没後100年と、  
私達を原点に立たせてくれる  
年でもありました。  
また、幡多の高校生の聞き  
取り

が、懸命な調査継続の努力  
の中で、映画化され世界に発  
信されました。  
昨年10月末に実施された  
「未来をひらく教育のつどい」  
(高退協も実行委員会参加)  
で、大学生が「若者の権利意  
識を奪わないでほしい！」と  
発言しました。「自己責任」  
の呪縛が、若者たちを包む中

## 退職後の生活



下八川光代

父を看取り、そのまま中村  
に居住している。母はボケて  
はいないが、似たようなもの  
である。

仕事がないので人とかか  
わりが少なくなり、新婦人に  
仲間入りさせてもらって、パツ  
チワークや雑物、ストレッチ  
に通っている。退職後の文化  
展に出品できるようにがんば  
る。焼製つくりや焼きそば  
などの食べ物も楽しみたい。  
リスマス会や新年会もある。  
在職中はそんな余裕はなかつ  
たが有り難い存在である。義

哀悼  
古味 忠男 さん  
2020年12月12日逝去  
謹んでご冥福を  
お祈り申し上げます。

務の教員ばかりで高教組出身  
者は少ない。  
また、出身地なので保育園・  
小学校からの同級生と野草  
見ながら佐田の沈下橋や森沢  
の沢歩きをした。  
春はタラの芽・秋はコゴブ  
を収穫。野草は、何回聞いて  
も覚えられないが、見分けは  
つくようになってきた。森沢  
で出会った私たちよりも少し  
年配の夫人は、歩いていると  
猿の親子に出会った。親猿が  
栗の木に登って揺らして落と  
したので子ザルが拾っていた  
ので「おばちゃんも分けて  
よ」と言って一緒に拾ったと  
いうのだ。(左上)



天狗高原セラピーロード

童話の世界のような話である。  
三人で話していると絶対に出  
会わない話だが、友達も一人  
で歩いていたらイノシシがい  
たそうだ。また、一品持ち奇  
り食事は、今はコロナで休  
止をしている。  
高校の友達は今も小中  
校の元教員だが四万十市の奥  
地巡りをしている。名前はない  
でも行ったことのない奥  
小尾や鴨川、利岡、川登など  
初めてのところを歩くので、  
私の中村の地図が広がって  
きた。乗るおむかごを見つ  
けるのも楽しい。昨年はカズラ  
を取って松ぼっくりや乾燥ア

ジサイ、サルトリイバラの美  
などを集めてクリスマススリ  
ーヌを作った。  
外出しない日は、畑に出て  
ダイコンやカブの間引き、玉  
ねぎの苗やエンドウの種も植  
えた。芋は荒地で作るほう  
がおいしいと言われるので、  
今年は畑を広げこれまで耕作  
していなかった土地に植える  
と、メアカ芋はできたのだが、  
苗を70本もらったサツマイモ  
は小さく、特にニンジン芋は  
ピンポン玉くらいのが大半で  
あった。来年は畑を戻そう。  
薬物も消毒をしないので虫に

食われている。でも大丈夫。  
大根やカブはベテランさん達  
から大きく育ったのを頂く。  
植えていないショウガやシ  
トウなども誰かが声をかけて  
くれる。白菜もキャベツやブ  
ロッコリー、白ネギも苗はケ  
イさんが作ったのをみんなが  
もらっている。母が築いた関  
係が私を支えている。  
裏山には、ミカンやレモン  
があり、知り合いにおすそ分  
けができた。見かけは悪いが  
消毒も何もしておらず、今年  
は堆肥を少し入れたので、昨  
年よりも甘くなりおいしいと  
言ってもらった。畑の傍の竹  
藪には柿とサクラノボの木が  
ある。柿は毎日食べてなくな  
たら取りに行った。友だちか  
らもらった柿は吊るし柿に  
した。

講演があった。種苗法が  
衆議院を通り、農家が自  
分家の種を取れなくなる。  
そんな無茶苦茶な。そこ  
で話されたのだが、「ク  
マが人里に現れるのはク  
マの住む環境が変わった  
からで、テレビの実験で  
柿とどんぐりを目の前に置く  
と、どんぐりしか食べない。  
畑の垣に椎の木を植えると、  
クマは畑に来なくなるとさ  
うだ。限界集落など山間部の人  
たちは、住んでくれるだけで  
国土を守っている。安全保証  
管理費を払うなどして生活を  
助け、人がいなくなるはない対  
策が必要である。」この話は  
実感できる。

私る歩く野山はあらゆると  
ころに動物の侵入を防ぐ金の  
柵が巡らされている。山沿い  
や沈下橋までの畑、小尾や後  
川などあらゆる田畑のほとん  
どである。金柵がない所でも  
山すその道には、イノシシの  
藪場があり、山からの通り道

## 祝 米寿

長寿を心からお祝い申し上げます。

- 村田 暢生 (高知市神田)
- 山下 文男 (須崎市野見)
- 田村 和子 (高知市潮見台)
- 矢部 節子 (高知市曙町)
- 横田 昌之 (高知市上町)
- 藤原 弘子 (南国市西野田町)
- 吉本 方子 (いの町柳野)
- 岡本 竹夫 (高知市大津)
- 林 匡彦 (四万十市田野川)
- 安芸 和子 (高知市神田)
- 川谷 和男 (香南市野市町)
- 木戸 秀雄 (四万十市中村)



新婦人での焼製つくり

三月になると稲穂を浸けて  
苗つくりが始まる。米作りは  
お手伝い程度にしている。  
時には学習会にも参加して  
いる。先日、小松泰信さんの



友人と散策

大目の風車も見えてきた。思っ  
たよりも風車の立っている土  
地は最小限に抑えているが、  
そこにつながる道路は広く、  
音も動物たちには影響がある  
だろう。歩いていただけで、  
環境問題が身近になる。  
そんなこんなで、退職後も  
楽しくやっています。